※令和４年度以降入学生用

学校番号	1009

令和５年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　化学基礎　（第一学習社）						
副教材等	新課程版　プログレス化学基礎　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小・中学校で学んだ理科の化学分野について詳しく学びます。授業では学習した内容を演習問題を解くことで振り返りながら進めていきます。
演習問題が課題となる場合、ただ答えを覚えるだけではなく、その答えに至る過程・理由を授業の内容を思い出しながら問題に取組むようにしてください。必要な場合は小テストも実施します。
また、２編１章物質量と化学反応式では物質量をはじめとした新しい考え方を学びます。これは４単位化学でも通して扱う考え方なので、１年次にしっかり理解できるようにしてください。

２　学習の到達目標

１．化学が物質を対象とする科学であることや化学が人間生活に果たしている役割を理解できる。
２．原子の構造及び電子配置と周期律の関係を理解できる。
３．化学反応の量的関係、酸と塩基の反応及び酸化還元反応の基本的な概念や法則が理解できるとともに日常生活や社会と関連づけて考察できる。
４．目標を達成するために探究活動を行い、学習内容を深めるとともに、化学的に探究する能力を高める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学の特徴や物質の構成や変化について、基本的な性質を理解している。 物質とその変化を調べる方法について、観察・実験などに関する技能を身につけている。	身の回りの物質の性質や変化について、基本的な特徴を捉え考察する力を身につけている。 実験や観察の結果を整理し、科学的に考察する力を身につけている。考察した内容を、説明・表現する力を身につけている。	物質とその変化に関心をもち、科学的な考え方を活用しようとしている。科学的に考察を深め、自らの探究の過程を振り返り、問題解決の方法について粘り強く考え、評価・改善しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物質の構成	物質の成分と構成元素	a:物質を構成する成分（元素）について理解している。 b:物質の成分・構造・状態を確認するための適切な方法を判断できる。 c:物質を構成する元素の性質を理解しようとしている。	小テスト 定期考査 ワークシート	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート 観察
		原子の構造と元素の周期表	a:原子の構造を理解している。 b:イオンの名称を規則に基づき表現できる。 c:原子の性質が電子配置のしかたにもとづくことを理解しようとしている。	小テスト 定期考査 ワークシート	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート 観察
2学期		物質と化学結合	a:結合の種類と結晶のでき方を理解している。 b:物質の性質は、どのような結合によるものか説明することができる。 c:物質の結合と性質の関係を理解しようとしている。	小テスト 定期考査 ワークシート	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート 観察
	物質の変化	物質量と化学反応式	a:物質の変化と量的な関係を理解している。 b:物質の変化と量的関係を、化学反応式を用いて表すことができる。 c:化学反応における物質の量的な関係を理解しようとしている。	小テスト 定期考査 ワークシート	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート 観察
		酸と塩基の反応	a:酸・塩基の定義を理解している。 b:酸と塩基の中和について理解し、中和した酸・塩基の量を求めることができる。 c:酸・塩基の水溶液の濃度や中和した時の酸・塩基の量について求めようとしている。	小テスト 定期考査 ワークシート	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート 観察 実験

※令和４年度以降入学生用

３学期		酸化還元反応	a:酸化還元反応について理解している。 b:金属の反応性やその酸化されやすさを説明することができる。 c:酸化還元反応とその利用例を理解しようとしている	小テスト 定期考査 ワークシート	小テスト 定期考査 ワークシート	ワークシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度